

2017年度 自己評価（園長編）の結果及び改善策

I 「教育内容」についての評価結果及び改善策

教職員は教育内容を共有し、ミーティングを繰り返し行っている。2015年度からは園内研修を始めた。身近に起こる課題や保育計画の見直しを計った。長い間培ってきた三本柱「食育」「子ども聖歌隊スマイル」「森のようちえん」は価値のある行事として伝統的に続けていく。改善策として、行事の量の配分とバランスを考慮する必要がある。ゆったりとした環境を構成していく必要がある。

II 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての評価結果及び改善策

子育て支援センターとして「こども広場スマイル」がある。親と子のセンター的役割を担ってきている。参加人数も増えてきているのは、専任教諭の努力の結果である。改善策としては園内の敷地であるが、在園児との触れ合う機会が少ないのが課題である。

III 「安全管理」についての評価結果及び改善策

59年の歴史がある建物もあとわずかで終わりとなります。古い鉄の門扉、どこからでも侵入できそうな古い窓、耐震のできないこの園舎だからこそ、声を掛け合って施錠を確認する。これをもう少しの間は徹底し、日々繰り返し安全を確保していく。

IV 「人事管理」についての評価結果及び改善策

人事としては、経験豊かな保育者が多く、安心して任せられる。時間的には、忙しく余裕のない日常。何とか量的な配分を考慮する必要がある。

V 「財務管理」についての評価結果及び改善策

公認会計士による監査を受けており、法的整備は整っている。

VI 「評価と情報の公開」についての評価結果及び改善策

ホームページは毎週更新し、毎日の園での様子を発信している。行事予定は、毎月各クラス便りで伝えている。手紙や電話で連絡を取り、家庭との連携を密にしている。今後共、継続して行なっていくつもりである。